

理事長の頭の中

Chairman of Chitosekai Group
by Hiromasa Hidari



VOL.196. 2022. 11月号

「1から2！！」

スイッチON！！11月11日は第二回感謝祭でした！日々の仕事の中から生まれた企画であり、二回目を継続できたことに感謝と、現場力の力をみました！本当にお疲れ様でした！！一年に一度の大きなイベントです。関わってくれたメンバー、エントリーしてくれたメンバーは、主役である意識の中から成長の原石を磨いてもらえたら嬉しいです！

さて、企画といえば

“0から1”を作るのは僕の得意とする仕事の領域です。それを、継続する“1から2”を作るのは苦手です。しかし、2を昇華させ付加価値をつけたりする、“2+α”は得意です。ここで、重要なのは、役割です。

企画力“0から1”と、継続力“1から2”の能力は別物です。仕組みがないと継続はできません。

では、企画から始まり、継続していくための原動力とは、、、それは「情熱」です。

情熱があるから、大義が薄まらない。何のためにやっているのかが明確になります。

先細りしていきません。情熱があるから、次のバトンに企画の理念である“大義”が伝えられます。

伝えるそれも、情熱を込めて。

ただ残念なことに企画が続かないのは、、、なぜ。。

それは、せっかく“0から1”のフォーマット・基礎があるのにそれを引き継がないからです。

引き継ぐことで、そこから情熱は一段ギアを上げれるのに。。。

結局は、情熱と事務は別で考えないといけません。「事務＝仕組み」だからです。

企画が上がれば、続けるための仕組みを企画書に入れていなければなりません。

一過性で終わらないために、その仕組みがあって、初めて情熱込めて引き継ぎができるからです。

ただ、冒頭いったように、企画力と継続力の得意不得意があります。僕の場合は、得意なのは前者です。

ですからそれも仕組みとして、得意なメンバーを巻き込む必要があります。

これから日々の業務やイベントが一過性ではなく、仕組みのづくりで昇華していく意識をもつこと。

それがナレッジであり、あなたと会社の“知の共有”になるのです。それが、会社の財産になるのです。

視点を変えると、“あなたは会社にどのような貢献してますか？”というその質問に。

答えは、あなたの日々の知恵を、会社に残し、“”知の共有”をすることが貢献になります！です。

まさに、“明日の先をつくる”ことをあなたは貢献しています。

未来にあなたの知を残していきましょう！

後輩たちがあなたの情熱のバトンを受け取り、その先をつくります！！！！

社会福祉法人 千歳会
理事長 左 敬真

